

2025年3月期 中間期決算 補足資料

株式会社 ロジネットジャパン

2024年11月6日



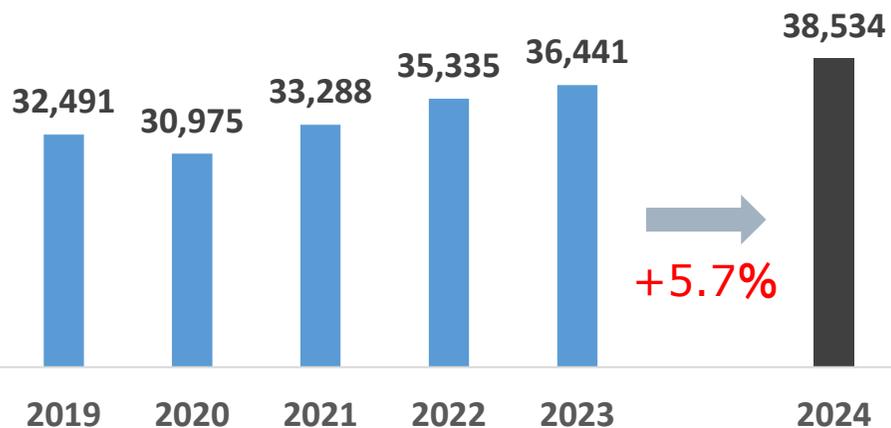
1. 2025年3月期 中間期 連結業績

- ・ **営業収益**は、大手取引先の取り扱い数量の増加や料金改定などにより、**前年同期比20億93百万円増 (+5.7%)** の385億34百万円となりました。
- ・ 利益面については、昨年度に引き続き今年度も行っているグループ従業員の処遇改善による人件費の増加影響があるものの、上記の増収効果により**営業利益は前年同期比1億70百万円増 (+9.9%)** の18億96百万円、**経常利益は前年同期比1億28百万円増 (+7.6%)** の18億31百万円となり、**対前年増収増益**となりました。

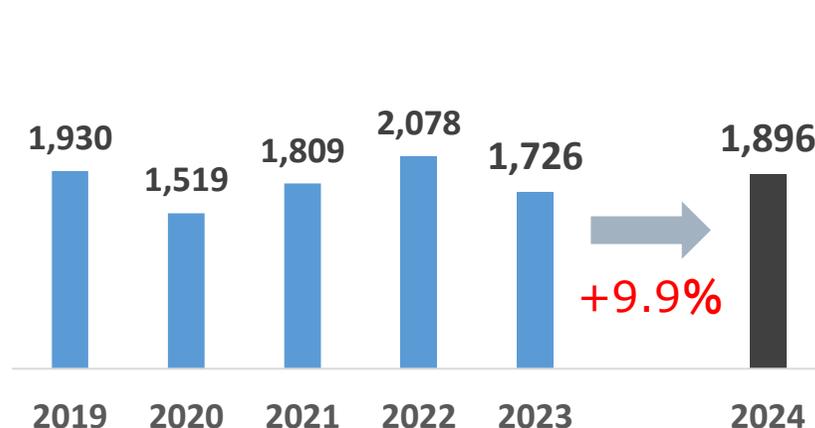
	前中間期	当中間期	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
営業収益	36,441	38,534	2,093	5.7
営業利益	1,726	1,896	170	9.9
経常利益	1,702	1,831	128	7.6
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,084	1,176	92	8.5

2. 中間期 連結業績の推移

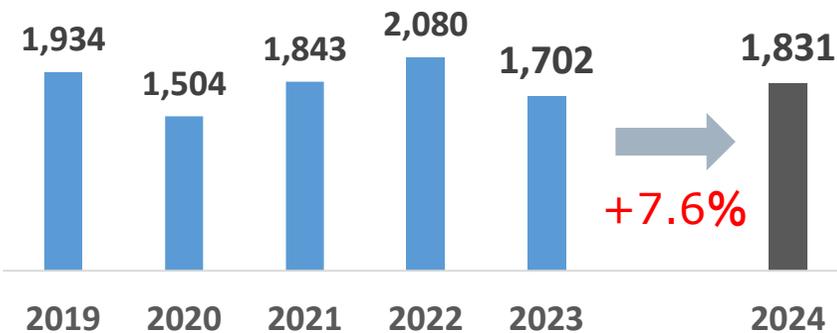
営業収益 (百万円)



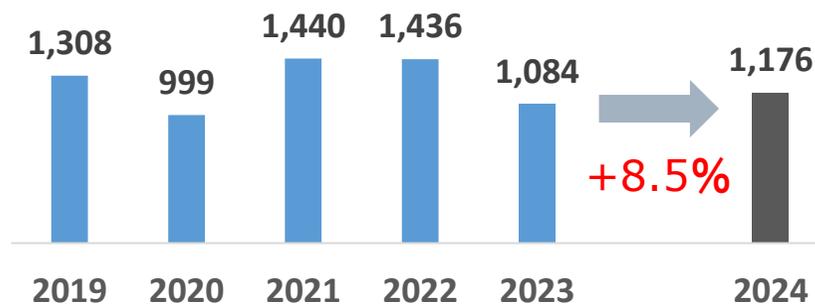
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



中間純利益 (百万円)



3. 2025年3月期 連結業績予想

- ・ 2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月9日発表値から変更はありません。
- ・ 当社グループを取り巻く環境は、燃料の高止まりや輸送資材の高騰などによる**コスト増加影響**などにより厳しい状況が続くものと想定されますが、「**中期経営計画2022**」に基づき、DDロジの展開、適正料金の收受などにより営業収益目標の達成を目指すとともに、業務のIT化及び、車両適正配置など輸送体制の見直しによる生産性の向上に取り組んでまいります。

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	80,000	8.0	3,820	20.9	3,800	19.8	2,390	23.0

4. 物流業界の課題と当社の展望

〈物流業界の課題〉

ドライバーの時間外労働時間制限

2024年
問題

- ・ 現状の輸送体制の継続が困難
- ・ 輸送を担う人材の不足
- ・ 物流企業の売上減少 など

輸送原価の高騰（資材・燃料）



〈ロジネットジャパングループ 中期経営計画2022〉

事業目標 国内市場で強力な存在感を持つ
総合物流企業グループへ成長を果たす

売上目標 2030年度までに連結売上高
1,000億円を実現



LNJグループ長期ビジョン達成に向けた3つの取り組み

作業負荷を低減する輸送手段の提案 … **(1) DDロジの拡販**

更なる事業拡大に向けた人財確保 … **(2) 人財投資**

輸送品質の維持強化・コスト増加への対応 … **(3) 適正料金の収受**

4. 物流業界の課題と当社の展望

(1) DDDロジの拡販

DDDロジとは、1パレット単位でお預かりした荷物を最終納品先に
ダイレクト (Direct) に輸送 (Delivery) する規格定型輸送サービス商品です。



 中間物流コスト
(輸送・保管・管理)

25%以上削減

※関東圏→北海道への従来輸送とのモデル比較

 荷積・荷下ろし
ドライバー稼働

最大80%削減

※入出庫・積替作業・パレット返却作業の削減効果

 CO2排出

10%以上削減

※プラスチックパレットの製造～保管～配送
～返却におけるCO2排出量との比較

4. 物流業界の課題と当社の展望

(1) DDDロジ の拡販

■ 採用例



その他、農産物の輸送や国際輸送にもご利用いただいております。

特許出願中

実用新案登録

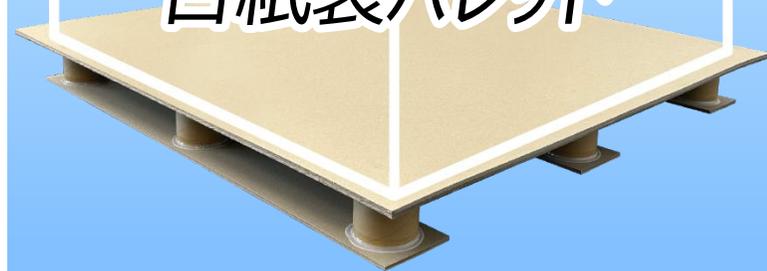
第3243394号

独自の管理システム

+

耐荷重1トン・返送不要の

合紙製パレット



4. 物流業界の課題と当社の展望

(1) DDDロジ の拡販

2024年9月10日～13日に東京ビッグサイトで開催された

「国際物流総合展 第16回Logis-Tech Tokyo 2024」(来場者8.4万人)

に  DDDロジ を出展しました。



(左) 出店ブースの様子 (右) 合紙製パレットを展示

(2) 人財投資

現在構築できている適正な輸送体制を維持しつつ、今後の事業拡大ならびに企業価値の向上に向けて多様な人財を確保すべく、処遇や職場環境などの「人財投資」に力を入れています。

今年度においても、昨年度に引き続き、前期と同等レベルの人財投資を計画し、処遇改善を行っております。

処遇改善

(2024年3月期対応済)

- ◆ **ドライバー給与を最大15%引き上げ**
- ◆ **新卒初任給を対前年比15%引き上げ**
- ◆ **現場管理職への手当加算**

職場環境

(主な社内制度)

- ◆ **育児休業・介護休業期間中の給与支給**
(休業前の手取収入満額相当を支給)
- ◆ **転勤者帰省旅費補助制度(年2回)**
- ◆ **借上社宅制度**
(会社が家賃の3/4を負担)
- ◆ **奨学金全額返済支援制度など**

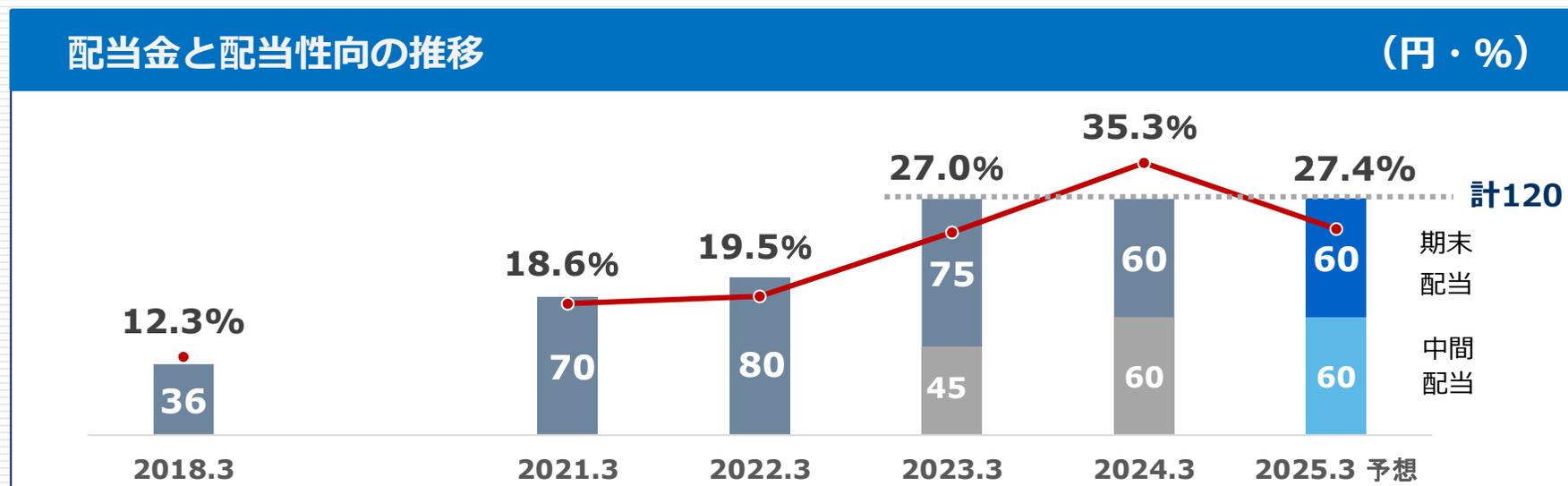
(3) 適正料金の收受

燃料価格の高止まりや輸送資材の仕入れ単価の高騰などを踏まえ、荷主様からのご理解を得ながら、輸送価格の引き上げについて継続的に交渉を進めています。

(1) 配当金について

・ 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけた上で、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当を継続することを基本方針とし、配当金の決定については、この基本方針を踏まえながら、利益水準を勘案して決定しております。

・ **2025年3月期の配当**は2024年5月9日発表値通り、中間配当60円00銭、期末配当60円00銭、**合計120円00銭**の配当を予定しております。



(2) 自己株式取得について

1 株当たり株式価値の向上による株主還元の拡充と資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするために、自己株式の取得を進めております。

【今年度の取得状況】

取得した株式の種類	: 当社普通株式
取得した株式の総数	: 119,600株
株式の取得価格総額	: 359,996,000円
取得日	: 2024年7月17日

(3) 株主優待制度について

3月末日の所有株式数に応じて、弊社製品の「北海道大雪山『ゆきのみず』」を贈呈しております。

『ゆきのみず』はモンドセレクション優秀品質最高金賞を受賞（2023年度）したほか、札幌商工会議所の認証「北のブランド2024」においても金賞評価を得ております。

本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

